



アルストロメリアの生育状況を確認する酒井さん（長野県伊那市で）

生産コスト上昇乗り切る！

生産資材が高騰する中、長野県JA上伊那花卉（かき）部会長の酒井弘道さんは、変動する燃油価格を見ながら暖房器具を使い分けたり、被覆資材を増やして保温効果を高めたりと工夫する電気代と燃油代が、生産費で大きな割合を占める。酒井さんは、伊那市にある計76坪のハウスで11品種のアルストロメリアを栽培。ハウスでは、電気を使うヒートポンプと燃油を使う

暖房器具や被覆資材工夫

長野・JA上伊那花卉部会長・酒井さん

JA管内のアルストロメリアは、

を凝らす。「できることから実践して今を乗り切る」と決意を語る。

3～5月に最盛期を迎える。3月は需要期の彼岸を控え、生産者はコスト削減に取り組みながら品質、数量にこだわり栽培を続けている。

同JAは、アルストロメリアの生産量が日本一の産地。通年で出荷するため、冬場は暖房器具の使用によ

酒井さんは「生産コスト

（長野・上伊那）